「2018年3月6日付　日刊「電波新聞」より」

家電製品アドバイザー／エンジニアとスマートマスター

家製協　全国延べ51会場　1万3000人超受験

家電製品協会の認定センターは4日と7日、34回目となる「家電製品アドバイザー／エンジニア」資格と、4回目となるスマートハウス普及に向けた人材育成を目指す「スマートマスター」資格の全国統一試験を、延べ51カ所の会場で実施している。受験者総数は1万3千人超に増加。森拓生センター長は「目まぐるしく変化する家電製品を取り巻く環境に追随した、知識が身につくように進化させているカリキュラムが評価されている」と、分析している。

新たに加えられたスマートマスターは、過去3回の試験で約4千人の合格者が誕生。受験者は、家電・住設・住宅・リフォーム・電力などエネルギー関連分野などに広がっている。

4日に行われた全国統一試験の東京会場の様子

試験後の主な日程は①各試験の解答速報を認定センターホームページと電波新聞に9日以降に発表②個人の試験結果は4月10日認定センターホームページに掲載し、受験者のマイページにて個別通知③5月1日が資格の認定日で認定証を交付④5月21日以降、「スマートマスターがいるお店」として、専用サイトで順次公開する。

各資格の試験内容は、IoTやAIなどの導入で変化している製品や、生活環境に合わせて毎年更新されている。受験者は家電業界にとどまらず、関連他産業からもあり、会社ぐるみで有資格者増に取り組む事例も増えている。